４年	8	２けたでわるわり算の筆算	組　　番 名前（　　）

チェック 次の問いに答えましょう。

① 次の計算を筆算でしましょう。

㋐
```
      32
26)832
   78
   ---
    52
    52
   ---
     0
```

㋑
```
      10
63)691
   63
   ---
    61
     0
   ---
    61
```

② ５０００÷２５０と答えが同じになるわり算をつくります。□にあてはまる数をかきいれましょう。

㋐ ５００００ ÷ ２５００

㋑ ２００００ ÷１０００

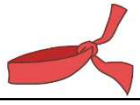
問題

もうすぐ運動会です。たかしさん、なみさん、かおりさんの３人は、運動会のじゅんびの係になりました。じゅんびでつくるのは、１人８０ｃｍのはちまきと、ダンスで使う紙でつくった花です。４年生の４８人分をじゅんびします。

先生が、ぬのを４０００ｃｍ、１ふくろが１５０まい入りの紙を５ふくろ用意しています。３人は、今ある、ぬのと紙がたりるかどうかについて考えています。

１人分のざいりょう

〔はちまき〕
・ぬの８０ｃｍ



〔花〕
・紙１６まい
（かた手が８まい）
・わゴム２本

（１）４８人分のはちまきをつくるのに、ぬの４０００ｃｍでたりるかどうかを、それぞれの式で考えています。

たかし：８０×４８＝3840

なみ：４０００÷８０＝５０

かおり：４０００÷４８＝８３あまり１６

３人は、式をつくって計算し、ぬのはたりるとわかりました。上の３人の式は、それぞれ何を調べるための式ですか。次の①～③の中から１つずつえらんで、それぞれ番号をかきましょう。

① 今あるぬのから、はちまきを何本分とることができるか。
② 今あるぬのから、１人分が何ｃｍとることができるか。
③ 全員分のはちまきをつくるのにひつような長さは何ｃｍか。

たかし	③
なみ	①
かおり	②

次に、花を作るための紙がたりるかどうかについて考えます。さっき、ぼくはかけ算の式で考えたから、今度はわり算の式で考えてみるよ。

（２）たかしさんは、紙がたりるかたりないかを、なみさんかかおりさんのようにわり算の式で考えることにしました。なみさんとかおりさんのどちらかすきな方の考え方をえらび、式や言葉を使ってせつめいをかきましょう。かきだしの文の（　　）のえらんだ方に〇をつけ、かきだしにつづけてかきましょう。

紙は（　たりる　・　たりない　）とわかりました。そのわけを（　なみ　・　かおり　）さんの考え方を使ってせつめいします。はじめに、先生が用意した紙のまい数を計算すると、

（例）１５０×５＝７５０で、７５０まいあります。

〔なみさん〕　この紙で、何人分作ることができるかを計算すると、
７５０÷１６＝４６あまり１４だから、あと２人分たりません。

〔かおりさん〕この紙で、１人に何まいずつがあるかを計算すると。
７５０÷４８＝１５あまり３０だから、１６まいにならない人がいるので、たりません。